

都 退 教 協 だ よ り

No. 283号

2018年4月18日発行

東京都退職教職員協議会 会長 柴田 廸春

〒101-0003 千代田区一ツ橋 2-6-2 日本教育会館 2F 東京教組内

☎:03-5276-1311 FAX:03-5276-1312 Mail:totaikyokyo@tokyokyouso.org

染井吉野は散い、 枝垂れ桜が満開でした



昨年と同じ4月4日に開催した「お花見会」でしたが、今年は開花が早く北の丸公園のソメイヨシノは葉桜になってい

ました。しかし、国立近代美術館工芸館近くの枝垂れ桜は満開で見事でした。

11時に教育会館で集合し、都高教退職者会と一緒に出発しました。花見客も少なく、新緑の美しい北の丸公園でビールと日本酒を飲みながらゆっくり談笑することができました。

竹橋の毎日新聞本社地下にある「ユック」（アイヌ語で鹿の意）という北海道料理店でおいしいランチをいただき近況・感想などを述べ合い盛り上がりました。

当日の参加者は、都高教退職者会が平岡会長をはじめ3人、都退教協は柴田会長、柴田悦、谷口の計6人でした。参加者は少なかったのですが、桜もおいしい料理も楽しむことができました。



2018年度の年金額は据え置き（厚生労働省が公表）

「2017年平均の全国物価指数」が総務省から発表され、これを踏まえて年金額を据え置きにすることが厚生労働省から公表されました。年金額の改定は、賃金水準の変動がマイナスで物価水準の変動がプラスとなる場合には、スライドなし（据え置き）とすることが規定されています。

昨年の名目賃金変動率はマイナス(0.4%)で物価変動率がプラス(0.5%)になったのでスライドがなくなりました。

その結果、マクロ経済スライドによる調整(0.3%)も行われませんが、年金改革法(2016年成立)により、未調整分として繰り越されることとなります。

会員の声 (その3)

教え合うこと、認め合うこと

加藤和雄

「いじめ」が問題になっているのは、現代教育制度に問題があると考えています。評価を相対評価する事により差別をつける事が教育の根幹になっている事です。私が教師になった時代は、絶対評価（問題はあるが）を通し、試験の結果が思わしくなくても努力が認められれば良くつけ、生徒間の交流を深めるため、学習ノートの交換、教え合うこと。誕生会などで認め合うこと。ソシオグラムを通して孤立する事がないよう配慮、学級内の役員も立候補制で自覚と責任を持たせるよう指導をしました。いじめられる生徒にも性格、行動、生育歴にも問題がありますが、観察分析により、助言、指導が大切です。苦労したのは家庭環境と周囲の生活環境でした。私自身も学生時代にいじめられましたが、自己中心的な為だと気付かず、ただ我慢しました。

現代の学校教育の在り方を何とか改めて欲しいと願っています。

毎日、働いています

大嶽昇一

“会員の声”の欄作成のためにご苦労様です。案内、原稿集め、校正、印刷、発送と大変な労力が必要ですね。大変な仕事に取り組んでいらっしゃる皆さんに頭が下がります。

人間疎外、孤独、今コミュニケーションが成立しないし、ほぼありません。又、その克服方法を知らない人が余りにも多い時代ですね。だからこそ充実した人間関係を作るためにも“会員の声”の欄が必要です。とても楽しみにしています。

今、私は、月～金の9時～17時 名古屋入国管理局に、又、土～日にかけてJR東海の保線現場での安全確認の仕事をしています。やはり働けるということは良いことですね。そういう意味では人間の労働ということが一番よぎるのかもしれない。但し労働感をもっともっと変革していく必要がありますよね。

我が国における「教育」の流れ —ある経験を通して—

柴田 廸春

「学校とは何か」について、人それぞれで違うと思いますが、私は「現代社会における学校」として、次のように考えています。

まず、「学校」は子どもたちの「生き・育ち・学ぶ場」です。そこは、できる限り子どもたち自身が、「何をどうすればいいか」について考え、それを実行する場です。「学校

は教育の場」と言われる人は多いと思いますが、「教育」とは何でしょうか。

正確には分かりませんが、多くの場合そうであったように、外来語を「翻訳」する際、「education」に当てはまる2字「熟語」として、「藩校・寺子屋」などのイメージから、「教え、育む」（教育）としたのではないのでしょうか。ただ、この言葉には「ひきだ

す」という意味もあることを私は学んでいます。それは、子どもたちそれぞれが持っている様々な力を充分発揮できるように周囲の大人たちが「サポート」するという意味でもある、ということです。

ところが、「わが国の近代教育」は不幸にして、スタートから「間違っただ」に踏みこんでしまったと考えられます。その一つは、欧米など「先進国」の制度やその内容について、客観的に学び、それを参考にしてわが国の実情を十分考慮して取り入れなかったことです。それは、徳川幕府に取って代わった政権が、長州・薩摩を中心とする勢力で占められたことです。彼らは、吉田松陰ほかの「尊王・攘夷論」の影響もあり、「戊辰戦争」後「攘夷」の対象を近隣の地域・諸国に向け、「琉球・蝦夷・朝鮮・台湾」など（後年の中国、千島・サハリンも含め）への「侵略」が進められていきます。こうした「戦略」は最近明らかにされた木戸孝允（元・桂小五郎）が1868年に書いた文書にも明記されています。そして国家スローガン「富国強兵」「殖産興業」の遂行に必要な人材を育成するため、1872年「学制」を發布しました。（「学制」は1879年に廃止し「教育令」（*）に替え、以後「改正」を繰り返す）そして、「忠君愛国」「天皇崇拜」思想の涵養を盛り込んだ「国定教科書」の内容を「教える（すり込む）」ことを「幼・初・中・高等教育」において70余年間実施してきました。これが、国内外数千万人に上る犠牲者と、一

般庶民の「塗炭の苦しみ」を強いる結果をもたらしたことは周知の事実です。

こうした禍根は、敗戦後、新憲法を基本に作成された諸法と施策により払拭され、抜本的に改められるはずでした。しかし、「教育基本法」実施後から今日に至るまで、旧態が残存されたままの部分も少なからずあります。その一つは私自身、1947年10月（「教基法」実施半年後）、小3の私たちの「担任」になった復員兵のM・Hに、「海軍精神棒」と自称する角棒で前後4回脳天を殴られたことです。そこには、「民主教育のかけら」もありませんでした。私が憲法を学んだのはその5年後の中2の時、1949年に一度だけ文部省が発行した「民主主義」上下による授業でした。

あと、私が気になるのは、「教え子」という文言です。「共に学ぶ」、というより「学ばせられた」ことはあっても、自分には「教えた」ことはないと思うからです。

もう一つ、「労働基準法」などにより、労働者の権利、「労働時間・超過勤務・団結権・争議権」ほかを学んだのは、高1の「一般社会」の授業でした。これを基にしてまとめた文章もあります。

*「教育令」～学区制廃止、地方に権限移譲し、町村に公立学校を設置、「就学督促」を緩和した。

しかし、「教育令」は、批判が多く、翌年改正した。

道徳教育…何が問題 講師：宮澤弘道さん

5月11日(金)18:30~20:00 大田の教育を考える会主催
大田区消費者生活センター（JR蒲田駅東口下車5分）

4月から小学校では教科としての道徳がスタートしました。8月には、中学校の教科書採択があり、道徳の教科書も採択されます。講師の宮澤弘道さんは小学校教員で「道徳の教科化を考える会」の代表であり、若手の教育実践家として活動しています。また、東京教組の元青年部長、現在は多摩島嶼地区教職員組合の委員長です。

文科省は「考え議論する道徳へ」と言いつつ、教科書には結論を押し付けるものが目立ちます。子どもの内面にまで立ち入り、価値観を刷り込む危険がないのか？評価はどうするのか？など様々な疑問や不安の声が教育現場から聞かれます。

「教科としての道徳」の問題点、教科化された道徳教科書を使った子どもの内面に介入しない授業の研究・実践を紹介します。

9条改憲NO！ 平和といのちと人権を！ 5.3憲法集会2018

5月3日(木)12:00～プレコンサート
13:00～憲法集会

有明防災公園(東京臨海広域防災公園)

2014年7月の「集団的自衛権」行使容認の閣議決定以降、安倍政権による改憲の策動はいよいよ強まっています。2015年9月の「戦争法」の強行採決、2017年6月の「共謀罪」法の強行採決にみられるように、日本国憲法の平和主義・主権在民・基本的人権の尊重といった原則を、安倍政権は踏みにじてきました。

また、貧困・格差の拡大や原発再稼働、沖縄・辺野古新基地建設強行など、私たちのいのちや生活を踏みにじる政策が継続されています。

私たちの望むものは、政策の抜本的な転換です。私たちの「平和といのちと人権」の確立です。安倍首相が押し進めようとする

「2020年改憲」などでは、けっしてありません。

憲法記念日の5月3日、「9条改憲NO！平和といのちと人権を！5.3憲法集会」を東京・有明防災公園で今年も開催します。会員の皆さんの参加をお待ちしております。



9条改憲NO! 平和といのちと人権を!

5.3憲法集会

2018

2018.5.3 (木・休) 11:00START
有明・東京臨海防災公園

『安倍9条改憲NO! 憲法を生かす全国統一署名』にご協力をお願いします

主催: 5.3憲法集会実行委員会 共催: 戦争させない・9条壊すな! 総がかり行動実行委員会 安倍9条改憲NO! 全国市長アクション



編集後記

- ◇ この会報が会員の皆様に届くころには、ウソにまみれた安倍内閣が「モリカケ総辞職」になっていると確信している編集子です。
- ◇ 自民党文教族のトップ議員が名古屋市で行われた前川前文科次官の講演に圧力をかける由々しき事件が起きました。会員からも「ケンカラン! 都退教協としても抗議すべき」との電話をいただきました。教育への不当な支配極まれりという事件です。
- ◇ 今年の会費について、現在の会費納入の状況をお知らせする手紙を同封させていただきました。郵便振替用紙が同封されている会員の皆様は早めに納入をお願いいたします。
- ◇ 会員の皆さんの声を連載して好評でした。今回で終了ですが、また、返信用封筒で投稿を呼びかけたいと思います。メールの投稿も大歓迎です。(谷口記)